

神奈川東部推進協会報

平成21年3月31日発行
- 創刊号 -
神奈川東部職業能力
開発推進協議会
横浜市鶴見区寛政町28-2
TEL 045-504-2800

会長あいさつ

「創刊号に寄せて」

神奈川東部職業能力開発推進協議会

会長 南里 博良



神奈川東部職業能力開発推進協議会は、平成20年4月14日に設立総会を開催し、発足の運びとなりましたことは、御同慶の至りでございます。

東部総合職業技術校からの要請もいただき、川崎、鶴見、紅葉ヶ丘、横須賀の各技術校修了者を受け入れてきた会員が、会則・事業計画・予算等を慎重に検討、審議し、ここに協議会発足の運びとなりました。

さて、東部総合職業技術校で実施される職業訓練は、工業技術、社会サービス、建築技術などの分野に関する15コースに及ぶ多様な展開となり、その施設の規模は国内最大級を誇るものとなっています。15コースの技術校修了生を受け入れる業種も、製造業をはじめとして、建築業、ビル設備、介護施設、病院等医療等多彩なものとなりました。業種は多様なものとなりましたが、推進協議会の目的は、技術校が実施する職業訓練について協議を重ね、地域産業の事情に即した知識と技術を持つ職業人を的確かつ円滑に養成できるよう、職業訓練の円滑な実施と推進に資することにあります。会員の皆様には、それぞれの業種の現場から最前線の情報、現場で求められる知識と技術の需要を技術校に伝達し、技術校はその情報を十分に訓練内容に反映し、実践的な即戦力の人材を養成することです。このように公共と民間が一体となって有能な労働者を効率的に養成することです。現今では、公的な機関においては緊縮財政となり、企業においても、アメリカのサブプライム問題が引き金となった金融問題を原因とする景気の減速の中、しかも歴史に例を見ないテンポで高齢化と少子化が進行しています。このような現今の社会で企業の職業能力開発はますます重要な課題を抱えています。

そのような意味でも会員の皆様方の御協力により、当協議会が積極的な意見交換の場として、会員相互の有効な情報交換の場となり発展していくことを願ってやみません。ここにこの会報がその一助となれば幸いです。会員の皆様にはこの協議会の存在意義を十分に御理解いただき、皆様方の企業の発展のためにも、一層の御鞭撻と御協力を心からお願い申し上げます。

終りに会員各位のますますの発展と当協議会の進展を祈念して「神奈川東部推進協会報」創刊号発刊のご挨拶といたします。

知事あいさつ

「創刊をお祝いして」

神奈川県知事 松沢 成文



神奈川県東部職業能力開発推進協議会の設立1周年並びに「神奈川県東部推進協会報」の創刊を、心からお喜び申し上げます。

皆様の協議会は、昨年4月に開校した東部総合職業技術校、愛称「かなテクカレッジ」と連携し、技術・技能の継承や人材育成など職業能力開発に取り組まれるとともに、同校の修了生の受け入れにもご協力を頂いております。改めて、皆様の温かいご支援とご協力に感謝申し上げます。

さて、県では、総合計画「神奈川力構想」に基づき、「神奈川の力を生かした産業集積の促進」や「地域の特色を生かした産業の振興」を政策体系に位置付け、中小企業のものづくりや経営革新の支援、就業支援の充実や産業人材の育成などに積極的に取り組んできました。中でも、産業人材の育成については、多様化・高度化する企業の人材ニーズやそれに応えようとする訓練生のニーズに的確に対応するため、大規模総合型の職業技術校として再編整備された「かなテクカレッジ」では、その特性を生かしたコース運営や中高生に対するキャリア教育にも取り組んできたところです。

また、昨年来の世界的な金融危機により、経済・雇用情勢が厳しさを増す中、「神奈川県緊急経済対策本部」を設置し、中小企業への支援、雇用対策の充実など六次にわたる対策を講じてきました。4月からは、「かなテクカレッジ」及び各職業技術校の定員を増員して、雇用機会の早期確保を目的とした緊急特別短期訓練を実施するなど、引き続き県民や中小企業の安心・安定の確保に向けて全力を挙げて取り組んでまいります。

こうした難局を乗り切るためには、行政だけでなく、企業、NPO、関係団体が知恵を絞り、連携して取り組むことが必要です。オール神奈川の力を結集し、神奈川の先進力と協働力により、社会の活力を取り戻し、引き続き先進的な取組みをこの神奈川から発信していきたいと考えています。

協議会の皆様方には、県の取組みにご理解を頂くとともに、地域経済と職業能力開発行政の一層の発展に向け、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、神奈川県東部職業能力開発推進協議会のさらなる発展と、会員の皆様のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

顧問あいさつ

神奈川東部職業能力開発推進協議会

顧問 梅沢 健治

(社会福祉法人孝楽会 特別養護老人ホーム けやき荘)

神奈川東部職業能力開発推進協議会の発足並びに「神奈川東部推進協会報」の発刊を心からお祝い申し上げます。

現在、金融問題を契機とした急速な景気後退局面を迎えており、我が国の労働情勢は、少子高齢化の急速な進展の中、不安定な非正規労働の失業の増加といった大きな転換点を迎えております。こうした労働情勢の中では、能力開発が今後の社会経済の発展にとって、大きな意義を持つことになります。

今後、若年労働者の増加が期待できない中で、中高年齢者や転職を志す有能な人材の能力を十分に発揮できる職場を提供し、産業界や勤労者のニーズに即した効率的な能力開発を助言し推進することが当協議会の重要な使命として課されたものと存じます。

これからも、産業構造や就業構造の変化に対応し、当協議会を通して、皆様が相互の理解を深められ連帯して、地域の経済発展の為に御活躍をされますよう、当協議会並びに会員の皆様の限りない御発展を心からお祈りしてお祝いの言葉といたします。



参与あいさつ

神奈川東部職業能力開発推進協議会

参与 中島 達也

(神奈川県立東部総合職業技術校 校長)

「神奈川東部推進協会報」の創刊を心からお祝い申し上げます。昨年4月10日に開校した当校も一年を経過し、その間の神奈川東部職業能力開発推進協議会の皆様方の多大なるご支援により、数々の事業も滞りなく進めてくることができました。あらためて心より感謝いたします。

本年度の4月入校生の平均応募倍率は約3倍となり、コースによっては8.7倍という高倍率の入校選考になりました。数多くの方々に受験していただき、大変ありがたいことだと思っておりますが、昨年末からの不況が大きな影響を与えていると感じております。

入校生の年齢層は、15歳から60歳代までと大変幅広く、受験時の居住地は73%が県東部地域となっており、遠くは沖縄県、島根県からも入校されています。

開校式典で松沢知事に植樹していただいた桜の苗木も花芽をつけ、4月6日の入校式後には400名を超える技術校生の訓練が始まります。

かなテクカレッジ職員一同は、技術校生全員が一日も早く優れた職業人となるよう、力を尽くして支援してまいります。また、推進協議会の会員皆様には、これまで以上のご支援、ご協力をお願いするとともに、会員皆様のご健勝、ご発展を心よりお祈りしてお祝いの言葉とさせていただきます。



事業報告

設立総会の開催



設立総会（松沢県知事の祝辞）

平成20年4月14日（月）16時から川崎日航ホテルにて、松沢成文県知事他多数の来賓をお迎えし、神奈川東部職業能力開発推進協議会設立総会が開催されました。

設立総会当日は、発起人による設立経緯の説明、発起人代表あいさつに引き続いて、（第1号議案）「会則」及び（第2号議案）「理事の選任」について議決し、理事の中から会長、副会長、理事が選任されました。続いて、来賓紹介、来賓を代表して松沢県知事からご祝辞をいただいたあと、事業計画（案）、事業予算（案）について議決され、ここに神奈川東部職業能力開発推進協議会が発足しました。設立総会終了後、17時15分から祝賀会を行い、なごやかに協議会の発足をお祝いしました。

第1回研修会（施設見学会）の実施

平成20年5月15日（木）14時30分から、109名の会員の参加があり、東部総合職業技術校の校内を見学しました。研修会の当日は、中島達也校長のあいさつのあと、5グループに分かれて、バリアフリーや環境保護に対応し広々とした校舎棟、実習棟を2時間近く掛けて見学しました。会員からは「技術校生との面談会が予定されているか。」「スキルアップセミナーの講師派遣型について詳しく知りたい。」など熱心な質問が出されました。

第2回研修会（東証Arrows、貨幣博物館）の実施

平成20年10月14日（火）午後、第2回研修会（施設見学会）を実施しました。見学先は、東証Arrows（東京証券取引所）と貨幣博物館です。参加人数は、30名でした。この日は、10月に入って急落した株価がより戻した日でもありました。右の写真は、オープン・プラットフォームで刻々と変動する株価情報を展示したディスプレイの前で記念写真を撮ったものです。この中央下のディスプレイには、当協議会名と月日が示されています。思いもかけず集合写真を撮るべき日に撮れたことで、参加者からは感動の声が上がりました。その後、皆さんで貨幣博物館へ移動し、貨幣の歴史を学びました。



東証Arrows内での集合写真

合同就職説明会（年4回）の開催

平成20年11月5日（水）9時30分から12時30分まで、東部総合職業技術校の講堂、多目的教室等において、東部校の技術校生に対して就職に関する企業説明と面談を行いました。参加された企業は、46社で67名です。また、技術校生は152名で、参加コース名は、チャレンジプロダクト、セレクトプロダクト、メカニカルエンジニア、3次元CAD & モデリング、機械CAD、電気、自動車整備、溶接・板金、室内施工及びビル設備管理の10コースです。

右の写真は、多目的教室での面談風景です。その他の面談会場として、就職情報室や5箇所セミナー室でも行われました。技術校生と企業との真剣な面談が持たれました。この後の意見交換会では、面談回数をもっと多くしてほしいなどのご意見ご要望を会員企業からいただきました。



多目的教室での合同就職説明会風景

講演会

「ワーク・ライフバランス」

～ 二つの視点で命を見つめて ～

医師・自然写真家 井上冬彦氏



平成21年1月28日（水）15時30分から東部総合職業技術校視聴覚室において、医師・自然写真家の井上冬彦氏を講師にお迎えして、会員企業の産業振興に役立てることを目的に、工業、商業及び福祉に共通する分野で研修会（講演会）を実施しました。

今回は、人が働くこと、生きること、命のつながりや共生について、医師として写真家として体感されたことをアフリカの大自然と動物の写真を写しながら講演をしていただきました。講演終了後、アフリカでの体験で心に残っていることや講師の著作などについて参加者から熱心な質問が出ました。参加者の中には、講師を取り囲んで、熱心な質問を名残惜しくする光景も見られました。

広域・異業種交流会



優良従業員表彰



講演会に引き続き、麒麟麦酒(株)横浜工場内にあるビアポートへ貸し切りバスで移動し、広域・異業種交流会及び優良従業員表彰を同日18時から行いました。優良従業員表彰は、推進協議会の会員企業に勤務する優れた従業員を顕彰し、本人の努力をたたえ、会員企業の一層の発展に資することを目的として行われます。なお、表彰者5名の代表から「この受賞を励みに一層職場の能力向上をめざし、後進の標とも足掛かりともなるべく、努力して行きたいと思います。」と感謝の言葉をいただきました。

表彰のあと、広域・異業種交流会として時間まで懇談しながら、会員相互の情報交換と連携の強化の確認をしました。

役員および会員の紹介

役員紹介

役職名	氏名	事業所・団体名、役職等
会長	南里 博良	(株)田代鉄工所 顧問
副会長	内田 了	小向工業(株) 代表取締役社長
副会長	川瀬 和一	(福)共生会藤沢特別養護老人ホーム 常務理事
副会長	小林 博之	(株)進栄自動車 代表取締役
会計監査	樽谷 弘臣	(福)敬愛会 常務理事・法人事務局長
理事	青池 信雄	川崎労務管理協会 事務局長
理事	江波戸威津雄	(財)紫雲会横浜病院 事務長
理事	菊池 敏子	(株)菊池電業社 代表取締役社長
理事	黒木 正	篠原電機工業(株) 常務執行役員 経営管理部長
理事	斉木 幸雄	(社)川崎中原工場協会 事務局長
理事	廣田 愛子	朝日オフセット印刷(株) 代表取締役社長
理事	前田 卓哉	特別養護老人ホームたきがしら芭蕉苑 施設長
理事	松井 久高	(株)東システムサービス 相談役
理事	森田 潤一	(株)フジ・カーペット 代表取締役

会員紹介 (平成21年2月末現在：職系別・五十音順) ... 199社

機械系(機械加工・各種部品加工・設計・機械メンテナンス) ... 65社

旭ダイヤモンド工業(株)玉川工場、(株)伊那精工、(株)エービー、(株)大森精機、(株)オオヤマフーズマシナリー、(株)大脇金型製作所、(株)雄島試作研究所、(株)小野電機製作所、かもめプロベラ(株)、川尻鉄工(株)、協伸サンテック(株)、(株)共栄エンジニアリング、(株)京浜マリン製作所、国際鉄工(株)、小向工業(株)、(株)さくら樹脂、(株)サム システム、三進工業(株)、(株)サンテック、(株)ジーサス、J F E 工建(株)、J F E エンジニアリング(株)鶴見事業所、J F E テクノス(株)、J F E ベルテック(株)、J F E メカニカル(株)、(株)東海林製作所、昭栄建材(株)、(株)昭特製作所 京浜事業所、(株)成立、泰洋電機(株)、太陽油脂(株)、(株)田代鉄工所、(株)ダンレイ、(株)チバコー、(株)帝通電子研究所、電子科学工業(株)、(株)電元社製作所、東亜鉄工(株)、(株)東芝 京浜事業所、東急車輛設計(株)、(有)東成精密、東信化工(株)、東南鉄工(株)、

(株)奈木製作所、ニッパ(株)、(株)日放電子、日本ゲージ(株)、(株)日本コンサルティング、ニホン総工(株)、(有)平林製作所、富士電機システムズ(株)、三池工業(株)、(株)三田工業所 羽田事業所、三田工機(株)、三菱化工機(株)、(株)Y A K I N川崎、山崎金型(株)、ユニバーサル造船(株)京浜事業所、ヨコキ(株)、(株)吉岡精工、萬産業(株)、(株)よろづ鉸製作所、(株)ラックスオスカー、ワイペック(株)、(株)ワコー技研

電気工事系（電気工事・電気設備）... 19社

会津電業(株)、(株)東システムサービス、尼崎電機(株)、一富士電工(株)、(株)菊池電業社、共栄電工(株)、京急電気工事(株)、(株)光陽電業社、甲信電気(株)、J F E 電制(株)京浜事業所、篠原電機工業(株)、(株)芝 計、昌栄電設(株)、(株)テクノキャリア、(株)電成社、東洋電装(株)、トヨオカ電気(株)、ナトリ電設(株)、八巧機電設備(株)

自動車整備系（自動車のディーラー・修理工場）... 13社

(有)エムテック、神奈川トヨタ自動車(株)、神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、京浜物流(株)、(有)榊原自動車修理工場、(株)進栄自動車、トヨタエルアンドエフ神奈川(株)、トヨタカローラ横浜(株)、トヨタカローラ神奈川(株)、ネットトヨタ横浜(株)、ネットトヨタ神奈川(株)、(株)ホンダベルノ神奈川東、横浜トヨペット整備(株)

情報系（ソフトウェア・通信業）... 21社

アークシステム(株)、(株)アートウェア、(株)アイ・ジー・スクウェア、アイティーデザイン(株)、朝日ソフトウェア開発(株)、K M Kシステム&ソフトウェア(株)、(株)ケイテック、(株)サン・データセンター、(株)サンウェル、J F E ネット(株)、ジスクソフト(株)、(株)ステップ、ゼネラルエンジニアリング(株)、(株)セントラルシステムズ、(株)大洋システムテクノロジー、(株)デセオシステムズ、(株)テンプレート、ハル・エンジニアリング(株)、(株)マクシス・シントー 厚木支店、(株)宮川製作所、(株)ユーコム

社会サービス系（老人ホーム・給食）... 48社

(福)阿部睦会 横浜能見台ホーム、(福)育生会よつば苑、(福)磯子コスモス福祉会、(福)永寿会、エームサービス関東(株)、特別養護老人ホーム柿生アルナ園、鎌倉山若松ハイツ、特別養護老人ホーム特養鎌倉静養館、(福)共生会、介護老人保健施

設グリーンワーク東戸塚、(福)敬愛会、(福)公正会特別養護老人ホーム希望苑、
(福)孝楽会 特別養護老人ホームけやき荘、医療法人社団孝和会 介護老人保健施設
能見台パトリア、(福)三育福祉会 特別養護老人ホームシャローム、(財)紫
雲会 横浜病院、(財)シニアライフ振興財団、(株)ジャパンケアサービス、川崎市特
別養護老人ホームしゅくがわら、(福)秀峰会、(福)湘南福祉協会 特別養護老人
ホーム湘南ホーム、(福)親善福祉協会、逗子ホームせせらぎ、(福)昴 特別養護
老人ホームすずかけの郷、(福)清光会、セントケア神奈川(株)、ソフトホーム(株)、
(福)たちばな会 特別養護老人ホーム天王森の郷、(福)竹生会 特別養護老人ホ
ームたきがしら芭蕉苑、(福)中心会、(社)都筑医療センター 都筑ヘルパーステ
ーション、介護老人保健施設 都筑シニアセンター、(福)同塵会、(株)日京クリエ
イト、(株)日本ケアリンク、特別養護老人ホーム野庭苑、(福)福寿会、(福)ふじ寿か
会、(福)朋光会 特別養護老人ホーム太陽の國、(財)友愛会 介護付有料老人ホ
ーム 鎌倉静山荘、(福)横浜市福祉サービス協会、(福)横浜博萌会 特別養護老
人ホームしらゆり園、横須賀老人ホーム、(福)緑成会 特別養護老人ホーム緑の郷、
(株)レオック南関東、(福)若竹大寿会、川崎社会保険病院、医療法人杏林会 新横浜
こころのホスピタル

建築・造園・インテリア系（造園業・室内施工・配管・ビル管理）... 19社

(株)赤井クロス、生駒造園土木(株)、いすゞビルメンテナンス(株)、いずみビルクリエイト
(株)、(有)インテリア酒井、(株)オカムラ物流、(株)小田急ビルサービス、(株)栗田屋、京急サー
ビス(株)、大星ビル管理(株)、(株)丹野設備工業所、テルト首都圏(株)、(株)トーエイ、日本ビル
サービス(株)、(株)八興、(株)ハリマビステム、(株)フジカーペット、(株)マイスター60横浜事
業部、菱冷サービス(株)東京テクノセンター

その他の職系（印刷・ホテル・工業会・人材派遣・不動産）... 14社

朝日オフセット印刷(株)、内村印刷(株)、神奈川県室内装飾事業協同組合、神奈川県内装
仕上技能士会、(社)神奈川県自動車整備振興会 川崎中央支部、川崎日航ホテル、
(社)川崎中原工場協会、(社)川崎市電設工業会、川崎労務管理協会、(社)川崎北
工業会、(株)三光堂印刷、協同組合高津工友会、(株)ツルダイ商事、平塚鉄工業協同組合

会員の拡大のお願い

企業の「いま」を支え「これから」の発展を約束していくために必要なことは、優れた人材の確保と育成であることは、改めて申すまでもありません。

当推進協議会は、平成20年4月14日に設立し、現在会員数199社となっております。主な事業は下記のとおりですが、公共職業能力開発施設である東部総合職業技術校と連携し、従業員の職業能力の開発と向上を目的としたさまざまな企業活動も支援しております。

加えて、この中で、人材の確保と育成に関するの会員企業相互の情報交換の場としての評価も高まってきております。

つきましては、当推進協議会の一層の発展の為、貴社におかれましても関係企業で未加入の会社がございましたら、入会についてお勧めくださるようお願い申し上げます。

【主な事業】

- * 会員を対象とした研修会、見学会を実施し、新しい知識を提供するとともに会員相互の情報が得られます。
- * 企業内教育訓練の実施に協力します。
- * 会員企業の求人活動に対して、参考となる情報の提供が受けられます。
- * 職業技術校の講習会の企画、実施に対し、会員として要望する機会があります。

【入会問合わせ先】

事務局まで、ご連絡ください。 電話 045 - 504 - 2800

(後日、入会に必要な書類送付と会費8千円の請求をさせていただきます。)

東部総合職業技術校の紹介

東部総合職業技術校は、神奈川県東部方面にありました 専門分野別の5つの技術校（鶴見／紅葉ヶ丘／川崎／京浜／横須賀）が移転・統合されて、「工業技術」、「社会サービス」、「建築技術」の各分野に総合的に対応できる新しいタイプの職業技術校として、鶴見区寛政町（最寄り駅JR鶴見線安善駅）に、愛称を「かなテクカレッジ」として、平成20年4月に開校しました。「職業を変えたい」、「これから職業に就きたい」という県民の方々を対象として「就職に必要な知識や技術を身に付けること」を目的に訓練を行っています。訓練コースについては、次の3分野15コースを実施しています。

工業技術分野

メカニカルエンジニアコース

電気コース

コンピュータ組込み開発コース

3次元CAD&モデリングコース

機械CADコース

溶接・板金コース

自動車整備コース

チャレンジプロダクトコース

セレクトプロダクトコース



東部総合職業技術校校舎
（中庭からの風景）

社会サービス分野

ケアワーカー

給食調理

建築技術分野

建築設計

造園

室内施工

ビル設備管理



松沢知事ウイークリー訪問
（5月21日）

特に工業技術分野の中では、訓練スタイルに特徴がある2コースを新たに設けました。

チャレンジプロダクトコースは、「機械加工」「金属加工」「CAD」「電気」の4分野の体験訓練を行った後に、1分野を選択して、専門分野の内容を深く学んで、訓練の後半3ヶ月は、企業で実際に働きながら学ぶ「企業研修」を経て、実践的な技術・技能を身に付ける、という特徴があります。

「セレクトプロダクトコース」は、4分野の中から自分に合った複数の分野を選択して、1人で複数の種類の仕事をこなせる“多能工”となることを目標に訓練を行う、総合校のメリットを活かしたコースです。

そして修了時には、ハローワーク（公共職業安定所）と協力して、職業訓練指導員や就職相談員が、就職支援をいたします。

また、在校生の他に、現在企業で働いている方を対象にした、スキルアップのための短期講習会（スキルアップセミナー）も、多数実施しています。

新しいスタートを切ったばかりの施設ですが、多様化する県民・県内企業のニーズに応えられるような事業展開ができるよう努力してまいりますので、当校の業務運営や広報に多大なるご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

求人のお願ひ

東部総合職業技術校では、次の年4回（6月、9月、12月、3月）の時期に技術校生が修了します。各時期に合わせて求人のお願ひをしておりますが、求人は随時受け付けております。貴事業所で、求人がございましたら、職業技術校へ是非ご連絡ください。

〔3月〕全15コース

〔9月〕チャレンジプロダクト、セレクトプロダクト、機械CAD、溶接・板金

ケアワーカー、給食調理、室内施工、ビル設備管理

〔6月と12月〕セレクトプロダクト、室内施工、ビル設備管理

連絡先

東部総合職業技術校 入校・就職支援課

電話 045-504-2800

技術・技能継承プラザのご案内

神奈川県立東部総合職業技術校 技術・技能継承プラザは、1947年から1949年までに生まれた団塊の世代の方々が、2007年以降順次退職時期を迎え、中小製造業を中心に技術・技能の継承が懸念される2007年問題への県の取組みの一つとして、県内の主に中小製造業における技術・技能の継承を総合的に支援する拠点として、平成18年4月に全国に先がけて川崎高等職業技術校京浜分校にオープンし、昨年4月に東部総合職業技術校へ移転し、次の2つの役割を担い事業を運営しています。

(1) 技術・技能継承の相談

工業技術分野（機械加工や電気など）に精通した現場経験の豊富な在職者訓練コーディネーターが相談窓口にて、技術の継承や技術者の人材育成に悩む企業の皆様からの様々なご相談に応じています。また、個別的な企業のニーズについてきめ細かく対応するため、積極的にコーディネーターが企業を訪問し、企業ニーズの掘り起こしや開拓にも取り組んでいます。

(2) 技術・技能継承の訓練

スキルアップセミナー

中小製造業における従業員などの技術・技能の継承や向上などを目的に「スキルアップセミナー」を東部校にて実施しており、セミナーの種類は、企業からの要望に応じて講座の内容や日程を決める「オーダー型スキルアップセミナー」と、年度当初に講座内容を示し、その中から必要に応じて企業に選択していただく「メニュー型スキルアップセミナー」の2種類です。更に、オーダー型の充実ということで、東部校での開催が困難である企業については、講師が直接企業に出向いて実施する「派遣型」のセミナーも実施しています。また、オーダー型・メニュー型問わず、平日に仕事がある方も利用しやすいように、休日・土曜日・夜間も実施しています。

セミナーの内容としては、工業技術分野のガス溶接やアーク溶接などの金属加工、機械系のCAD、普通旋盤やフライス盤の機械加工、電気工事や電気制御などが中心ですが、建築技術分野（建築設計、造園、室内施工、ビル設備管理）や社会サービス分野（ケアワーカー、給食調理）でも、ご要望があれば当プラザにご相談ください。

かながわものづくり継承塾

神奈川県では、個々の企業や事業主の努力のみでは伝えることが難しい、熟練の技

術・技能を継承するために、「かながわものづくり継承塾」を、今年も開塾します。高度熟練技能者が講師となって、彼らの腕に秘められた“カン”や“コツ”などを、次世代を担う中堅若手の技術・技能者へ伝授することを目的としたスキルアップセミナーです。熟練技術・技能を学びスキル・能力を高めたいという皆様のご応募をお待ちしています。なお、平成21年度かながわものづくり継承受講生の募集につきましては次のとおりです。

平成21年度 かながわものづくり継承塾のご案内

1 開催講座

TIG溶接、工場板金、普通旋盤、フライス盤、機械組立仕上げ、工場電気設備の計6講座

2 開催会場

東部総合職業技術校(横浜市鶴見区寛政町28-2)

3 開催日程

6/3～7/8の毎週水曜日、全6日間(TIG溶接、工場板金、工場電気設備の3コース)

6/3～8/5の毎週水曜日、全10日間(普通旋盤、フライス盤、機械組立仕上げの3コース)

時間は、ともに8:50から16:10までです。

4 受講料

6日間コース(TIG溶接、工場板金、工場電気設備の3コース)は4,500円

10日間コース(普通旋盤、フライス盤、機械組立仕上げの3コース)は7,500円

(この他、ともに材料費等の一部を負担していただく場合があります。)

5 受講対象者

TIG溶接は、溶接技能者評価試験(JIS検定)基本級取得者または同等レベルの方。工場板金は、「曲げ板金」2級技能検定取得者または同等レベルの方。普通旋盤は、「普通旋盤」2級技能検定取得者または同等レベルの方。フライス盤は、「フライス盤」2級技能検定取得者または同等レベルの方。機械組立仕上げは、「機械組立仕上げ」2級技能検定取得者または同等レベルの方。工場電気設備は、「電気機器組立て」2級技能検定取得者または同等レベルの方。

6 お申込み&お問合わせ

お申込み方法(全講座共通)

お申込みは、往復はがき1枚につき1名、1つの講座のみご記入ください。

往復はがきの往信面に、希望講座名、住所、氏名、会社名、会社電話番号、職種、経験年数、

受講関連資格、企業の継承課題内容を、返信面に申込者の郵便番号、住所、氏名を記入して申し込みください。締切り後に受講者を決定し、受講の可否を返信はがきでお知らせいたします。なお、応募者が定員を超えた場合は抽選により受講者を決定します。

締切り

5月13日(水) 郵送必着

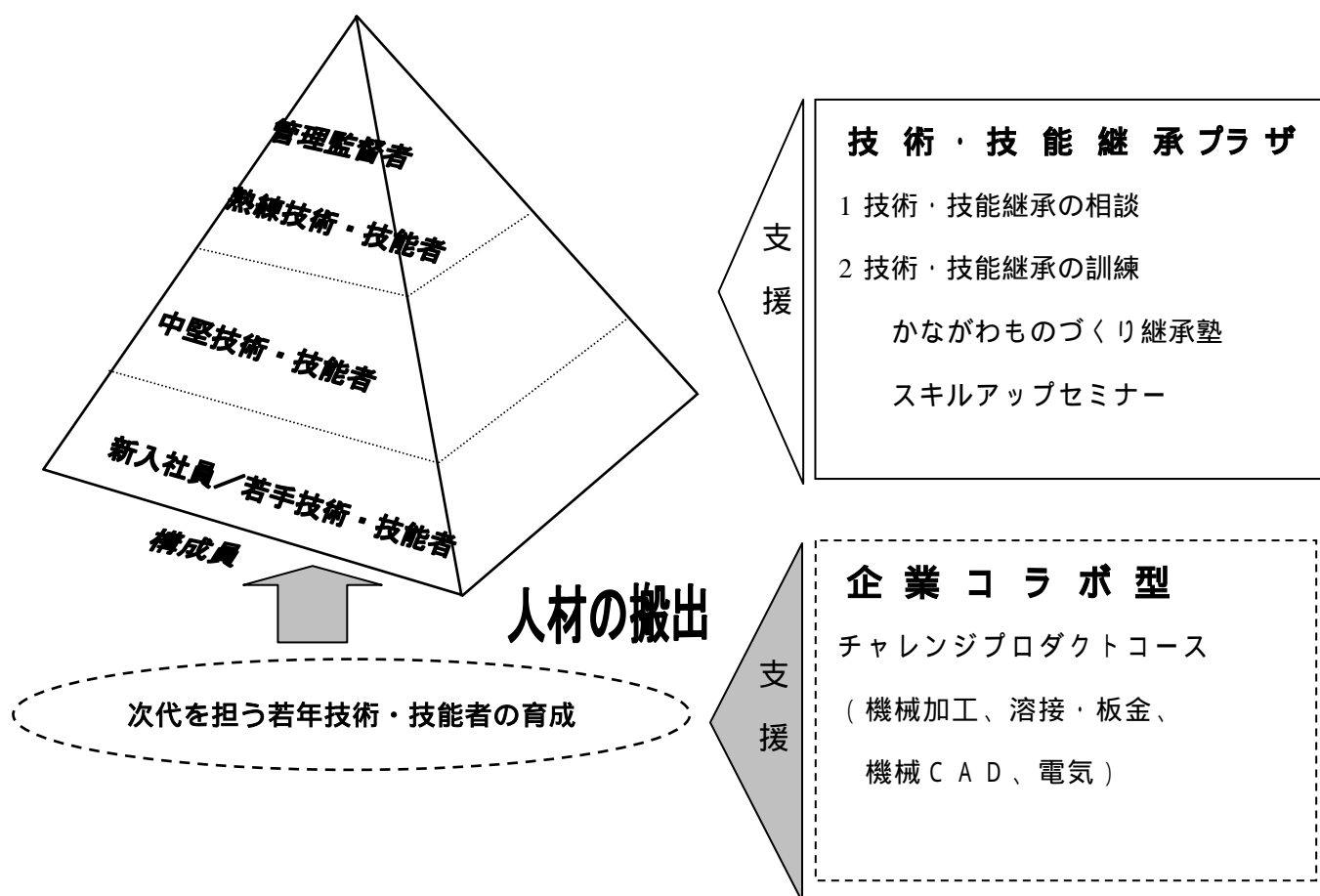
お申込み・お問合わせ先

〒230 - 0034 横浜市鶴見区寛政町28 - 2

東部総合職業技術校 技術・技能継承プラザ「かながわものづくり継承塾」係

TEL 045 - 504 - 3101 担当: 在職者訓練コーディネータ

技術・技能継承プラザは、
中小製造業の技術・技能継承を応援します
技能を次世代技能者に伝えたい
従業員の技術・技能を向上させたい





推進協議会事務局より

会員の皆様には、それぞれ日頃の業務にお忙しいことと存じます。

東部校としても、4月の開校に始まり、総合校の特徴を生かすために、暗中模索の中、職員間で多くの議論をしながら、より充実した職業訓練実施体制と就職支援体制等進めてまいりましたので、大変忙しい1年でした。

会員の皆様並びに関係者各位のご協力により、この会報の創刊号を無事発行することになりましたが、発行時期が大変遅れましたことをここにお詫び申し上げます。